

次世代エレクトロニクス分野の事業拡大に向けてスタートアップへ出資 ～導電性ポリマーの活用で成長分野での事業展開を強化～

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：石田 郁雄）は、ペガサス・テック・ベンチヤーズと共同で運営するコーポレート・ベンチャー・キャピタル（CVC）ファンドを通じて、導電性ポリマー「PEDOT/PSS（ピードット・ピーエスエス）※」の開発・製造・販売を手がけるスタートアップ企業「クレバ株式会社」（本社：東京都大田区、代表取締役社長：金井 文彦）へ出資することを決定いたしました。



PEDOT/PSS の原液イメージ

PEDOT/PSS は、優れた電気伝導性・透明性・柔軟性を持つ導電性ポリマーの一種です。コンデンサ用途に加え、近年の次世代ディスプレイやフレキシブルデバイスの需要拡大を受け、タッチパネルや有機EL、ペロブスカイト太陽電池等、次世代の産業インフラを支える素材として期待されています。

クレバ株式会社は、独自の製法とノウハウを活かした導電性ポリマー「PEDOT/PSS」の原液製造から配合（調合）液の開発までを一貫して行う国内唯一の企業であり、同分野において垂直統合型の生産体制を確立しています。同社が開発する PEDOT/PSS は、コンデンサ、次世代ディスプレイ、フレキシブルデバイス、再生可能エネルギー関連デバイス等の分野で、次世代の技術革新を実現する素材として注目されています。

当社は長年にわたり培ってきた高分子合成技術を活かし、分子設計・重合制御・複合化技術において豊富な知見を有しています。これらの技術は、導電性ポリマーの性能向上や用途拡大において大きな可能性を秘めており、今回の出資を通じて、高性能の導電性ポリマーの共同開発、新規用途への展開、製造プロセスの構築等、持続可能かつ新たな価値創出を目指していきます。

今回の出資は、当社が推進する経営計画「Mission 2030」に基づく新事業創出に向けた取り組みの一環として行うものであり、革新的な素材・技術を持つスタートアップとの連携を通じて、持続可能な社

会の実現と新規事業創出を目指すものです。なお、当社の CVC ファンドは 2023 年に設立され、2030 年度までに最大で約 1 億米ドルの投資を計画しています。

両社の技術的シナジーにより、次世代エレクトロニクス分野等の急成長する市場への対応力を強化し、グローバル展開を加速してまいります。

今後もデンカは、「化学の力で世界をよりよくするスペシャリストになる」というパーパスのもと、世界に誇れる化学技術を通じて、人々の暮らしと社会に貢献してまいります。

以上

※ PEDOT/PSS：ポリ（3,4-エチレンジオキシチオフェン） / ポリスチレンスルホン酸）からなる導電性ポリマー。PEDOT が導電性を担い、PSS が PEDOT を水中で分散させる役割を持つことから、この組み合わせにより、水分散型の導電材料として利用されている。

<クレバ株式会社概要>

- ・本社 : 東京都大田区
- ・事業概要 : 導電性ポリマー「PEDOT/PSS」の原液および配合（調合）液の開発・製造・販売
- ・公式 HP : <http://www.createvalue.co.jp/>



【ご参考：本件に関連する過去プレスリリース（当社公式ホームページ）】

- ・2023年1月17日「CVC（コーポレート・ベンチャー・キャピタル）設立に伴う調印式を実施」
https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/1099/20230117_denka_cvc.pdf

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5511

【お客様からのお問い合わせ先】

新事業開発部門 新事業創出部 電話：03-5290-5522